

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【子ども未来部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乘せを実施されたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 誕生死（死産）を経験した母親のケアを強化されたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 通年を通じ待機児童の解消を図られたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 子ども食堂など子どもの居場所づくりが広がっているが、様々な地域の年代の方が交流できるような情報提供や啓発をされたい。</p>	<p>国が令和3年1月から、助成額の増額等事業の拡充を予定していることから、市においても、国と同様に助成額を増額しております。これにより、利用者にとって、経済的負担が大幅に軽減されることとなります。今後も、利用者の希望をお聞きしながら、事業の充実に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部母子健康課）</p> <p>誕生死（死産）を経験した方は、深い悲しみの中にあることから、支援の方法に難しい面がありますが、経験した方のケアは重要であると認識しており、グリーンケア等の情報提供を行う等、その方に寄り添ったケアに努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部母子健康課）</p> <p>児童センターの未設置学区につきましては、平成31年3月に策定した「児童の放課後の居場所づくりに関する方針」におきまして、見前、向中野、太田の小学校区について児童センターを順次整備することとしており、令和2年度は、見前小学校区の実施設計、向中野小学校区の基本設計と地質調査を行ったほか、太田小学校区は、小学校の敷地内に整備することについて地元関係者へ説明し、了解をいただいたところであります。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子ども青少年課）</p> <p>待機児童について、4月1日時点は平成28年度から5年連続0人を達成したほか、7月1日時点、10月1日時点も令和2年度に初めて0人を達成するなど、年間を通じた待機児童解消に努めており、今後におきましても、待機児童が発生しやすい0～2歳児の入所定員確保について、定員の弾力化など重点的に取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子育てあんしん課）</p> <p>子ども食堂などの取組につきまして、様々な地域や年代の方が交流できるように、実施団体の活動を市のホームページで随時紹介しているほか、令和2年度は、市広報で子ども食堂の特集を掲載し、周知を行ったところであります。今後につきましても、引き続き工夫</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。</p>	<p>しながら情報提供を行い、様々な地域の年代の方が交流できるように努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p> <p>子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業」につきましては、各団体の活動内容について、市のホームページへの掲載や、活動報告会の実施により、市民や関係団体等に周知と情報提供を行っているところです。また、企業等に対しては、訪問して事業の説明や寄付を呼びかけているところでもあります。今後も、より多くの市民、団体に関心を持っていただくため、各団体の活動を取りまとめた報告書を作成するなどし、引き続き周知の強化に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>
<p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を強化して頂きたい。また、そのための人員配置は不足のないようにされたい。</p>	<p>児童虐待に対する市民への周知につきましては、毎年11月に国が実施する児童虐待防止月間に合わせて、市のホームページや、保育園、幼稚園、小中学校など関係施設へのポスター配布により、国が開設する児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちはやく）」の周知に努めているほか、児童虐待の防止を広く市民に呼びかける「オレンジリボン」の活動などに取り組んでいるとともに、教育・保育関係者や民生・児童委員の研修会においても啓発活動を行っております。</p> <p>受胎時からの切れ目のない支援につきましては、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援センターを一体的に運営することにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に努めているところでもあります。人員配置につきましては、平成31年度から、職員を3名増員したところであり、また、県と人事交流を行うなど体制強化も図っております。</p> <p>今後におきましても、虐待対応件数や相談対応件数、継続支援ケースの推移等を見極めながら、必要な体制の整備を図ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課、母子健康課)</p>
<p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 児童虐待について周知啓発の際に、虐待をしている親もパートナーからDVを受けている被害者であることも想定して児童虐待の啓発活</p>	<p>DVを想定した児童虐待の啓発につきましては、令和2年度の児童虐待防止月間において、新たに、国の「女性に対する暴力をなくす運動」と連動し、DVと児童虐待の防止の呼びかけが一体となったポスター掲出のほか、「女性に対する暴力根絶」のシンボルであるパ</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>動をされたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p>○ 子どもの居場所づくりや健全育成に関わる高校生・大学生に対し単位認定や内申書記載などを諮って頂きたい。</p>	<p>ーブルリボン活動と児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボン活動の同時展開により、市民への啓発を図ったところであります。</p> <p>今後におきましても、DVと児童虐待は密接に関連するものと認識の上、国、県の動きを注視しながら、市民部とも連携し、効果的な啓発に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p> <p>文部科学省は、学校以外の場における活動の成果を幅広く評価できるようにするため、ボランティア活動等に係る単位認定を認めているところであり、多くの学校が単位認定を取り入れております。</p> <p>単位認定の制度の活用については、学校の判断によるところではありますが、子どもの居場所づくりや健全育成事業に関わることは、高校生や大学生にとって成長する機会となり、大変意義があるものと存じますことから、機会を捉えて学校関係者と意見交換をしてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>